

施策体系シート(行政経営Bシート)

| | | | | | | |
|-----|----|-------|---|----|----|-------|
| 作成者 | 組織 | 地域振興課 | 職 | 課長 | 氏名 | 野口 隆 |
| 評価者 | 組織 | 地域振興課 | 職 | 課長 | 氏名 | 吉田 雅英 |

| 施策 | 施策の目標 | 成果指標 | 単位 | 目標値 (年度) | 現状値 | | 評価 |
|-----|----------------------------------|------------|----|-------------|----------------|----------------|----|
| | | | | | (年度) | (年度) | |
| 施策1 | 地域づくりの推進による石川への人の流れの形成及び移住・定住の促進 | 1 本県への移住者数 | 人 | 500 (R1) | 1,020 (H29) | 1,182 (H30) | A |

| 施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題 | | | | | | | 課題に対する主な取り組み | | | | 評価 | | |
|-------------------------|-----|----------|----------|----|-------------|----------------|----------------|-----------------|------|------------|------------|--------|--------|
| 施策 | 課題 | | 成果指標 | 単位 | 目標値 (年度) | 現状値 | | 事務事業 | 対象 | 予算 (千円) | 決算 (千円) | 事業の有効性 | 今後の方向性 |
| | | | | | | (年度) | (年度) | | | | | | |
| 施策1 | 課題1 | 移住・定住の促進 | 本県への移住者数 | 人 | 500 (R1) | 1,020 (H29) | 1,182 (H30) | 人材確保・移住定住総合対策事業 | 県内全域 | 81,300 | 80,718 | A | 拡大 |

事務事業シート(行政経営シート)

| | | | | |
|-------|--------------|-----|----------|--|
| 事務事業名 | 事業開始年度 | H22 | 事業終了予定年度 | |
| | 根拠法令 ・計画等 | | | |

| | |
|--------|--------------------------|
| 作 組 織 | 地域振興課 |
| 成 職・氏名 | 主任主事 坂田 健 |
| 者 電話番号 | 076 - 225 - 1312 内線 3690 |

事業の背景・目的
 いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC)を通じた移住者の多数が本県にゆかりのある方である一方、その掘り起こしに有効な家族等からの紹介によるILACへの相談者は1割と低調であることから、家族・知人を通じたILAC紹介キャンペーンを新たに実施するほか、移住相談や現地案内、本県の移住先としての魅力をPRする「いしかわ移住応援特使」制度の創設、県内企業での就労や地域での交流・体験機会の提供等を行う「いしかわトライアルステイサポート事業」に取り組み、本県への将来的な移住希望者の掘り起こしや、更なる移住者の増加を図る。

- 事業の概要**
- (1) いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC)の運営
 - (2) 移住に係る経済的負担の軽減
 - いしかわ移住パスポート(Iパス)の交付
 - (3) 情報発信の強化
 - 北陸3県等による合同移住イベントの開催
 - 首都圏等の子育て世帯を対象とした働きかけの強化
 - ふるさと回帰支援センターにおけるブース出展等の情報発信
 - 移住ポータルサイトやパンフレット、移住専門誌等による情報発信
 - 家族・知人を通じたILAC紹介キャンペーンの実施
 - (4) 移住体験機会の提供
 - 短期移住体験モデル事業の実施
 - 市町が実施する移住体験ツアー開催への支援
 - 都市住民への地域活動体験プログラムの提供
 - 企業での就労や地域での交流・体験イベントへの参加機会等を提供する
いしかわトライアルステイサポート事業の実施
 - (5) 受入体制の整備
 - 郵便局長が行う移住サポーター活動の周知の支援
 - 市町が実施する空き家バンク登録物件の調査への支援
 - 地域で取り組む移住受入体制構築に対する専門家派遣等の支援
 - 移住・交流に関する情報共有、意見交換、研修会の開催等
 - いしかわ移住応援特使による移住相談や現地案内等

これまでの見直し状況
 平成30年度
 ・県内の家族・知人から、県外在住の移住に関心のある方に対し、ILACへの相談を働きかけてもらうキャンペーンの実施
 ・県外の若者が地域で就労しながら、祭りや農作業等の交流体験や、SNS等による本県の魅力発信を行う、いしかわトライアルステイの実施
 ・移住相談への対応や現地案内、移住先としての本県の魅力発信などに協力いただける民間ボランティアの方に「いしかわ移住応援特使」として活動いただく制度の整備

| 施策・課題の状況 | | | | | | |
|----------|----------------------------------|----------|--------|--------|--------|--------|
| 施策 | 地域づくりの推進による石川への人の流れの形成及び移住・定住の促進 | | | | 評価 | A |
| 課題 | 移住・定住の促進 | | | | | |
| | 指標 | 本県への移住者数 | | | 単位 | 人 |
| | 目標値 | 現状値 | | | | |
| | 令和元年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | 500 | 347 | 510 | 889 | 1,020 | 1,182 |

| 事業費 | | | | | |
|---------|--------|--------|---------|---------|---------|
| (単位:千円) | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事業費 予算 | 18,000 | 27,000 | 64,827 | 91,085 | 81,300 |
| 事業費 決算 | 15,227 | 26,625 | 64,225 | 90,948 | 80,718 |
| 一般 予算 | 18,000 | 3,466 | 47,827 | 1,350 | 10,000 |
| 財源 決算 | 15,227 | 3,091 | 28,515 | 1,212 | 9,574 |
| 事業費累計 | 32,299 | 58,924 | 123,149 | 214,097 | 294,815 |

| 項目 | 評価 | 左記の評価の理由 |
|--|----|---|
| 事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか) | A | H30は県民との協働によるILAC紹介キャンペーンを新たに実施し、県内全域の約42万世帯へチラシ等でPRを行ったところ、ILACの相談者は前年比1.1倍に増加した。 また、「いしかわトライアルステイサポート事業」を実施し、19社に104名が参加し実際に石川県での生活を体験するなど、移住希望者のニーズに応えたアプローチができています。 こうした取組の結果、移住者数は目標を上回るペースで増加してきており、これらの取り組みの積み重ねが移住の促進に寄与している。 |
| 今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか) | 拡大 | 引き続き、ILACや市町と連携しながら、子育て世帯へのPR強化など戦略的な情報発信や、体験機会の提供、受入体制の整備を図るとともに、移住者や移住希望者のニーズに応じた支援メニューを充実させる。令和元年度は、更なる移住促進を図るため、新たに関係機関を一堂に集めたイベントを首都圏で開催するとともに、H30年12月に開設した「ILAC大阪」を活用し、関西圏での移住セミナーを拡充する。 |